

# 感染症の罹患報告書

認定こども園 庭田保育園 園長様

提出日: 年 月 日

園児名: くみ

保護者名 印

下記のとおり、園において予防すべき感染症に罹患し、医師の指導に従い、療養しましたので報告します。

受診した医療機関名	
医療機関受診日	年 月 日( )
診断された病名	風しん 水痘 流行性耳下線炎 インフルエンザ その他の疾病( ) ※証明が必要な疾病については、裏面をご覧ください。
発病した日	年 月 日( ) (インフルエンザの場合は、発熱、倦怠感、 筋肉痛などがみられた日)
医師に指示された 自宅療養期間	年 月 日( )から 年 月 日( )まで
症状がなくなった日	年 月 日( ) (インフルエンザの場合は、解熱した日)
その他の連絡事項	

※この様式は医師の診断に基づき保護者の方に記入いただくものです。(医療機関に作成していただくものではありません)

# 感染症の罹患報告書

認定こども園 庭田保育園 園長様

提出日: 年 月 日

園児名: くみ

保護者名 印

下記のとおり、園において予防すべき感染症に罹患し、医師の指導に従い、療養しましたので報告します。

受診した医療機関名	
医療機関受診日	年 月 日( ) (インフルエンザの場合は、発熱、倦怠感、 筋肉痛などがみられた日)
診断された病名	風しん 水痘 流行性耳下線炎 インフルエンザ その他の疾病( ) ※証明が必要な疾病については、裏面をご覧ください。
発病した日	年 月 日( ) (インフルエンザの場合は、発熱、倦怠感、 筋肉痛などがみられた日)
医師に指示された 自宅療養期間	年 月 日( )から 年 月 日( )まで
症状がなくなった日	年 月 日( ) (インフルエンザの場合は、解熱した日)
その他の連絡事項	

※この様式は医師の診断に基づき保護者の方に記入いただくものです。(医療機関に作成していただくものではありません)

登園の目安 (出典 保育所における感染症対策ガイドライン2012)

インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ熱が下がった日の翌日から3日を経過し、体力が回復してから	腸管出血性大腸菌感染症 (O—157,O26等)	医師に感染の恐れがないと認められていること。トイレの排泄習慣が確立している5歳以上の子は、出席停止の必要はない。また、5歳未満の子は、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である
百日咳	特有の咳が出なくなるまで。または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了してから	ヘルパンギーナ	熱が下がり、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の食事がとれるようになってから
麻疹(はしか)	熱が下がってから3日を経過してから	溶連菌感染症	医療機関で処方された抗生剤を内服後24～48時間以上が経過していること。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが出現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まってから(症状が改善し全身状態が良いこと)
風疹	発疹が消えてから	伝染性紅斑(りんご病)	全身状態が良い場合は登園可能
水痘(水ぼうそう)	発疹がすべて消え、かさぶたになってから	手足口病	熱が下がり、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の食事がとれるようになってから
咽頭結膜熱(プール熱)	主な症状が消えてから2日を経過してから	ウイルス性胃腸炎	下痢、嘔吐の症状が治まり、普段の食事がとれるようになってから ※症状がある間は感染する恐れがあるため登園できません。全身状態が良いこと
結核	医師に感染の恐れがないと認められてから	(ノロ・ロタ・胃腸風邪など)	RSウイルス感染症
髄膜炎菌性髄膜炎	医師に感染の恐れがないと認められてから	RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから
流行性角結膜炎(はやり目)	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消えていること	突発性発疹	熱が下がり、機嫌が良く全身状態が良くなってから
急性出血性結膜炎	医師に感染の恐れがないと認められてから	帯状疱疹	発疹がすべて消え、かさぶたになってから
B型肝炎	急性肝炎の場合、症状が消失し全身状態が良いこと。キャリア、慢性肝炎の場合は、登園に制限はない。		

登園の目安 (出典 保育所における感染症対策ガイドライン2012)

インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ熱が下がった日の翌日から3日を経過し、体力が回復してから	腸管出血性大腸菌感染症 (O—157,O26等)	医師に感染の恐れがないと認められていること。トイレの排泄習慣が確立している5歳以上の子は、出席停止の必要はない。また、5歳未満の子は、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である
百日咳	特有の咳が出なくなるまで。または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了してから	ヘルパンギーナ	熱が下がり、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の食事がとれるようになってから
麻疹(はしか)	熱が下がってから3日を経過してから	溶連菌感染症	医療機関で処方された抗生剤を内服後24～48時間以上が経過していること。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが出現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まってから(症状が改善し全身状態が良いこと)
風疹	発疹が消えてから	伝染性紅斑(りんご病)	全身状態が良い場合は登園可能
水痘(水ぼうそう)	発疹がすべて消え、かさぶたになってから	手足口病	熱が下がり、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の食事がとれるようになってから
咽頭結膜熱(プール熱)	主な症状が消えてから2日を経過してから	ウイルス性胃腸炎	下痢、嘔吐の症状が治まり、普段の食事がとれるようになってから ※症状がある間は感染する恐れがあるため登園できません。全身状態が良いこと
結核	医師に感染の恐れがないと認められてから	(ノロ・ロタ・胃腸風邪など)	RSウイルス感染症
髄膜炎菌性髄膜炎	医師に感染の恐れがないと認められてから	RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから
流行性角結膜炎(はやり目)	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消えていること	突発性発疹	熱が下がり、機嫌が良く全身状態が良くなってから
急性出血性結膜炎	医師に感染の恐れがないと認められてから	帯状疱疹	発疹がすべて消え、かさぶたになってから
B型肝炎	急性肝炎の場合、症状が消失し全身状態が良いこと。キャリア、慢性肝炎の場合は、登園に制限はない。		